

【活動計画】

1 母藻の設置

- ・繊維状の基質（シールート）を用いてサガラメ移植基を作成する。
- ・相良沖に作成した移植基を設置する。

2 種苗の投入

- ・御前崎港周辺・御前崎沖にカジメ種苗、相良沖にサガラメ種苗の投入を行う。

3 モニタリング

- ・各活動区域において、潜水調査による定点観測を行い、活動区域ごとの平均被度を算出する。

●令和5年度の取組状況

【実績】

1 母藻の設置



■サガラメ移植基



■ダイバーによる設置作業

2 種苗の投入



■県水産・海洋技術研究所より提供されたサガラメ



■海底に設置した移植基



■スポアバッグに充填



■活動区域に投入

3 モニタリング



■R4年度に確認されたカジメ藻場



■消失したカジメ藻場

【これからの課題】

消失してしまったカジメ藻場を取り戻す為に、種苗投入や母藻設置、食植性魚類の除去、モニタリングを行い、前年度までであった、カジメ藻場の復活に向けての取組を行っていきます。